



第1回 宇宙セミナーの開催

例年、多くの商工会員の皆様にご参加いただいている宇宙セミナーを今年も開催しています。
今年最初となる第1回宇宙セミナー2019を2019年2月24日(日)に開催いたしました。

第1回宇宙セミナー2019では、ご家族で力を合わせて宇宙飛行士に必要な資質・能力に挑戦する参加型イベント「宇宙飛行士にチャレンジ！」を行いました。当日は22家族74名の皆様にご参加いただきました。JAXAからはヒューストン駐在職員に加えて、2015年7月から約半年間、国際宇宙ステーション(ISS)に滞在し、現在はNASAジョンソン宇宙センターで業務にあたる油井亀美也(ゆい きみや)宇宙飛行士も参加し、宇宙での実体験とそれに向けての訓練の様子をご紹介いたしました。

「宇宙飛行士にチャレンジ！」はスペースセンターヒューストンのシルバームーン会議室にて行いました。特別審査委員長は油井宇宙飛行士、司会はJAXA栗山駐在員です。まず、油井宇宙飛行士から宇宙での実験や飛行してくる宇宙船を捕獲する作業などの宇宙飛行士の宇宙での仕事や、宇宙ステーションでの生活についてご紹介しました。そして、その仕事を他の宇宙飛行士や地上の仲間と協力し合いながら、きちんとこなすために必要な能力・資質を高めるための訓練について説明がありました。この後、参加者の皆さんには、宇宙飛行士に必要な4つの能力「想像力」「知識力」「記憶力」「持続力」を試す問題に挑戦して頂きました。

「想像力」の問題では、らせん状のマス目に合わせて、制限時間内に「しりとり」でどれだけ言葉を当てはめられるかを競う課題に挑戦頂きました。複数ある細かなルールを守りながら、大人の知識力と子どもの柔軟な想像力のかけ合わせにより、たくさんの言葉でマス目が埋められました。

「知識力」の問題では、昨年9月に日本の輸送機「こうのとり」7号機でISSに運び、その後無事に地上に帰還した小型回収カプセルに関することや、昨年ISSに長期滞在を行った金井宣茂(かないのりしげ)宇宙飛行士のミッションに関することなどを取り上げ、どんなことがISSで行われているのかを知って頂く機会になりました。

「記憶力」の問題では、制限時間内に数字の羅列と、宇宙飛行士の顔写真を暗記して答えるという難易度の高いクイズでしたが、どのご家族も集中力を発揮し、答えを導き出して下さいました。

「持続力」は、折り紙が課題です。実際の宇宙飛行士選抜試験でも折鶴をひたすらお続ける作業が課題となったことがありました。短い制限

時間の中で何個折ることができるか、プレッシャーの中でも集中力を切らすことなく、真剣に取り組んでいただくことで、たくさんの折り紙ができあがりました。

質疑応答では、「宇宙飛行士になる上で、子供の頃の経験から役立つ事は？」(返答:家のお手伝い)、「どうして宇宙飛行士になりたいと思ったのか？」(返答:子供の頃から綺麗な星を見ていたから)、「タンパク質の結晶は地上では出来ないのか？」(返答:対流などの擾乱がない状態が長く維持できる宇宙でしか出来ない)等の、さまざまなご質問をいただきました。

その後、接戦を制した上位2家族で決勝戦を行いました。決勝戦では、ISSでの船外活動(EVA: Extravehicular Activity)を模擬した「EVAロボトライアル」が出題されました。これは、トライアル参加者をEVAを行う宇宙飛行士と想定し、ISS船外部品に見立てた部品を、決められたルールを守りながら順番に交換していく課題です。特に大事なルールは2点です。1点目は、船外活動中に手から部品が離れてしまうと、二度と取りに行けないため、部品を取り外す場合は、必ずその前にロープを部品に取り付けて手が放れても部品が飛んで行かない状態を作ること。2点目は、スタート/ゴール地点(実際の宇宙飛行士が船外に出るときに使用するエアロックを想定)から作業場所への移動の際に、慌てない・走らないこと。どちらのチームも、確実かつ迅速に作業を行い、減点なしで、田中さん家族が優勝、桐山さん家族が準優勝となりました。



優勝した田中さんご家族と油井宇宙飛行士

参加者の皆さんからは、「子供と共に宇宙に興味を持つきっかけとなり良い経験になった」「家族そろって熱くなってしまうほど楽しかった」「直接宇宙飛行士のお話しが聞いて勉強になった」「油井さんの実体験に基づいた興味深い話が聞いてとても面白かった」などのご好評をいただきました。

今回の宇宙セミナーに参加した油井亀美也宇宙飛行士や、昨年ISS長期滞在を行った金井宣茂宇宙飛行士、また2019年終わり頃から2020年にかけてISSに長期滞在予定の野口聡一(のぐちそういち)宇宙飛行士や星出彰彦(ほしであきひこ)宇宙飛行士の活動状況は下記のウェブサイトでもご紹介しています。ISSで行われている宇宙実験やヒューストン駐在員事務所の最新情報なども下記のウェブサイトでご紹介しています。ぜひご覧いただき、みなさんも宇宙を身近に感じてください。(文責: JAXA)



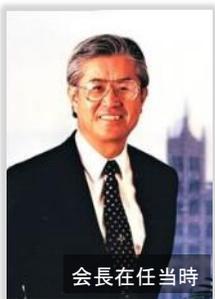
「宇宙飛行士にチャレンジ！」イベントの様子

ISS・きぼう広報・情報センター: <http://iss.jaxa.jp/>
JAXAヒューストン駐在員事務所FBページ:
<https://www.facebook.com/jaxaHouston/>

目次	1... 宇宙セミナー	4... 安全情報	7... ピーカンキッズ・生活情報委員会活動紹介	10... ミニツメイドホンダクラブ・各種告知
	2... 商工会理事委員会議事録	5... ANA航空教室・先生体験記	8... テキサス・メディカル最前線	11... 各種告知
	3... 追悼記事・会社紹介	6... ロッキー山脈登山	9... 駐妻日記・駐在員日記	12... 知っとん・Houston Walker・編集後記

会員限定

「明るく、楽しく、皆んなの為に」 真の国際人・川島義之氏を偲んで



会長在任当時

2019年1月18日(金)、本年初のゴルフストリーム編集会議で、今年の記事について案を出し合った。小林事務局長から、「川島義之元商工会会長に、ヒューストン商工会の思い出を寄稿していただく」という話があり、編集委員一同これに賛成した。ところがまさにその日、川島さんがご自宅で逝去されたことを、3日ほど経ってから私は知った。

私が初めて川島さんにお目にかかったのは、2017年5月10日、杉原千畝を描いた映画『Persona Non Grata』のホロコースト博物館での上映会であった。映画の後の講演会の特別ゲストとして、川島さんは

招待されていた。お身体の具合があまり芳しくなさそうで、杖をついてゆっくり歩いておられたが、受付で名乗られた口調は朗らかで力強かったのが印象的だった。とても気さくで、笑顔になると20代の若者のような初々しささえ漂う川島さんに大変興味を惹かれ、私はプログラムに添えられていた川島さんのプロフィールを慌てて読んで驚いた。そこには、大学生の頃杉原千畝の長男と懇意になり、一時期杉原家に下宿していたとあった。その日の特別ゲストとして、川島さん以上にふさわしい方がいるだろうか？

映画も良かったが、上映会の後の川島さんのお話も面白かった。大変流暢な英語でユーモアもたっぷりの講演に、川島さんの温かいお人柄がにじみ出ている。講演後、私は図々しくも川島さんに、補習校の中学部の生徒のために講演に来てくださーいとお願いをした。川島さんは少し驚かれ、「中学生に何の話をしてほしいの？」と訊き返された。戦争と戦後の体験、アメリカで生きるヒントをお話してください、と重ねてお願いすると、「それは良いですね」と引き受けてくださった。講演にあたり、履歴をいただいて、私は今度は青くなった。とんでもない方をお願いしてしまった。川島さんはヒューストンの商工会の会長だけでなく、ハーマンパークにある日本庭園設立の立役者でもあったのだ。

川島さんは、1935年6月18日に愛知県尾張一宮で生まれ、東京大学法学部卒業後、渡米してコロンビア大学とハーバード大学で学んだ。1960年に三井物産に入社すると2年後にロンドンに転勤となり、5年間のイギリス生活を経て、帰国間際にイギリス人女性と結婚。その後、ニューヨークと

ヒューストンの間を何度も転勤された。(1970年ニューヨーク、1977年ヒューストン、1985年ニューヨーク、1987年ヒューストン(支店長))。

ヒューストン商工会では、1989～1990年の2年間会長を務め、特に地元のアメリカ社会との融和を図るべく尽力された。当時の Kathy Whitmire 市長をはじめとするヒューストン市関係者との結びつきを強め、日本企業のヒューストン誘致に力を貸す一方、ユナイテッドウェイやヒューストン商工会(現在のGHP)の理事を務めるなど、日本ビジネスマンの存在のアピールに努めた。せっかくアメリカにいるのだから、日本人以外の友達をこの地でたくさん作るべきである、という信念は、日本庭園の設立計画で具現化された。1990年に行われたヒューストンサミットに出席した当時の海部総理大臣は、川島さんが学生の時から知り合いだったことが縁で、日本政府から\$300,000の寄付金と、四阿まで寄贈していただくこととなった。

1990年、再びニューヨークに転勤となり、1997年に三井物産を退職した後、様々な会社の名誉職を務められたが、2011年にヒューストンを終の棲家と定めて戻ってこられた。2015年に胃癌に罹ったが手術に耐え、外出ができるまでに回復した時に、ホロコースト博物館の講演をされたのだった。2017年秋のハリケーンハービーでは、自宅が浸水し、友人宅やホテルを転々として難儀をされていたはずだったが、商工会50周年記念の座談会には、諸事情で欠席ながら原稿をご提供くださり、本調子でないのにもかかわらず自ら運転して記念式典にもご参加くださった。川島氏の商工会に対する熱い思いを感じた本当に有難い出来事である。さらに翌2018年1月の補習校での講演会では、パワーポイントを用意し、お話の内容について詳細なメモを作るなど、子供相手にも全く手抜きをされなかった。



川島さんについて思う時、「真の国際人」という言葉が真っ先に浮かぶ。親切、気配り、勤勉、不屈といった日本人の美德を最後まで貫きつつ、アメリカの良さも身に付けた人。二国の距離を縮めてくださった偉大なる先輩に、心から御礼を申し上げ、ご冥福を祈る。

(文責: 佐藤暁子)

ヒューストン日本商工会 会社紹介

駿台ヒューストン校
(駿台 USA)
大高 仁志さん



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

駿台ヒューストン校では、本気で勉強をしたい子を本気でサポートします。

「駿台」と聞くと大学受験というイメージが強いかもしれませんが、実は、特に海外では中学受験・高校受験でも多くの生徒たちの第一志望を叶えるお手伝いをしてきています。

もちろん、受験だけでなく、もっと英語ができるようになりたい、帰国して日本の学校に戻ったときに備えてしっかりとした学力を身に

つけておきたい、という人のためにもクラスを開講します。

本当に自分を高めたいと思っている子たちの「分かった!」という笑顔を大切にしていきます。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

20年以上も前、初めてアメリカを訪れたときに最初に足を踏み入れたのがテキサスでした。そのときの印象は「あたたかい」。もちろん気候もそうですが、人が親切で優しくとてもあたたかいですね。

その後、カリフォルニア、テネシー、そしていまミシガン州に住んで、アメリカのさまざまな側面を楽しんできました。で、このたびヒューストン校開校準備で再びテキサスに来て、もちろん今はミシガン住まいですから「あたたかい」どころか「暑い」ぐらいですが、昔感じた人のあたたかさはそのまま、アメリカ人も日本人もその他の人種の人たちも、多様性をしっかりと含みこんで生活していると思いました。もちろん実際にはいろいろなことがあるのですが、比較の上ではとって「受け入れてくれる」雰囲気を感じて、好感をもちました。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

日本人の多くに共通することかもしれませんが、仕事が趣味みたいところがあって、やはりいちばん大きな関心事はこれからの教育についてです(笑)。特に、日本の英語教育のゆくえについては、文科省が打ち出している方向に強い危惧を抱き、情報を集めたりしていろいろと考えています。

趣味と言えるものは野球でしょうか。小学生の野球から中学・高校野球、大学野球、プロも独立リーグ、マイナーリーグ、メジャーリーグ、どれも、さまざまなメディアで、また実際に足を運んで、楽しませていただいています。ヒューストンにはワールドチャンピオンのチームもあり、州内にはマイナーのチームも数多くあり、大学も全国レベルの学校が揃っているので、(なかなか時間はとれないかもしれませんが)観戦の機会があるのではと、わくわくしています。

ヒューストン安全情報発信

2017年のFBI統計によると、テキサス州は依然として、殺人、傷害、強盗等の各種犯罪発生件数が全米の中でも上位にあるとされており、中でも都市部の犯罪発生率は概して高く、大都市ヒューストンも例外ではありません。同市警の犯罪統計によれば、2017年の犯罪件数は前年に比べ減少したものの、それでも日本と比べ遥かに高い数値となっており、引き続き日常生活には十分な注意が必要です。ヒューストン市警HPにあるCrime Mapによると、至る所で各種犯罪が発生していることが分かります。

	2015	2016	2017	対前年比
殺人	271	301	258	85.7%
強姦	905	1,151	1,368	118.9%
強盗	10,276	10,546	9,778	92.7%
傷害	9,213	11,203	12,314	109.9%
住居等侵入盗	19,770	19,295	17,094	88.6%
非侵入盗	61,956	73,465	67,422	91.8%
自動車盗	13,058	13,622	11,501	84.4%
合計	115,449	129,583	119,735	92.4%

(データ:ヒューストン市警察 <http://mycity.houstonx.gov/crime/>)
 ※なお、2018年のデータは公表されておらず、2017年の統計は2017年1~12月の合計(2019年2月現在)。

1 邦人の方が被害に遭われる事案

(1) 邦人の方が被害に遭われる事案の一つとして、車上荒らしがあげられます。危険なエリアだけではなく、比較的安全といわれる日本食スーパー、レストランがあるエリアの駐車場等でも発生しており、車中に残した旅券、パソコン、財布等の貴重品が盗難に遭う事案が発生しています。最近では手口が巧妙化しており、車中のパソコン等が発する微弱な電波をキャッチする機械を用いたり、複数人が連携して犯行を行う例も発生しているとのことです。車内に貴重品を置かない、短時間でも鍵をかける、人気の少ないところに駐車しない等の基本事項を心がけて下さい。

(2) 住居侵入、窃盗、路上での暴行被害等の事案も引き続き発生しています。これらの犯罪を未然に防ぐためには、日頃から「自分と家族の安全は自分で守る」という基本的な心構えを持ち、「用心を怠らない」、「目立たない」、「行動を予知されない」ことを心がけて下さい。また、ヒューストンは車社会で、夜間は人通りが少なくなり、犯罪に巻き込まれる可能性が高まりますので、特に夜間は、短距離でも移動の際は車を使用するよう心がけて下さい。皆様が住むところは、普段は危険を身近に感じることは少ないと思いますが、ヒューストンの治安状況は前述のとおりですので、気を緩めることなく、基本的な安全対策を講じるようにして下さい。

(3) 最近、外国の金融会社を騙り、海外で亡くなったとする日本人の遺産相続を持ちかけ、連絡先などの個人情報を聞き出そうとする事案も発生しています。この種の事案では、結局は言葉巧みに手数料と称して多額の現金振り込みを要求される等の詐欺被害に遭う可能性が高いので、応じないよう心がけて下さい。

2 銃乱射、テロ

(1) 一般的にテキサス州では、銃の所有が容易であり、銃器使用に係る事件が多発しています。また、州法において他州と比べても広範な銃器等の使用が認められています。自身の財産の保護だけでなく、強姦、放火、不法侵入、強盗、夜間の窃盗、夜間の器物破壊等に対しても殺傷武器の使用による防護が認められています。

(2) 2016~2017年に同州では6件の銃乱射事件が発生しており、これは全米最多となっています。銃乱射犯の目的の多くは、一人でも多くの犠牲者を出すことであり、綿密な計画の下に犯行を実施し、乱射後の逃亡や生存を目的としておらず、その場で自殺したり、警察等の介入により犯人射殺か投降させるまで乱射が止まらない傾向にあります。犯人の経歴に共通点は見られておりません。当局によれば、犯行時間は人が多く移動する時間帯、場所は職場や商業施設が多いとのことです。銃乱射の場面に遭遇したら、とにかく逃げることを。逃げられない場合は、安全な場所に隠れ、当局へ報告することを心がけて下さい。

(3) テロは、かつての組織的なものから、ナイフや車、簡易爆弾など市場調達可能なものを利用した単独犯によるテロが増加傾向にあります。また、特定のイデオロギーや信念に基づくというより、身の不遇を社会のせいにして復讐しようという犯行目的が増えているとされています。このようなテロの予防は、これまで以上に難しいものですが、標的となりやすい不特定多数の人が出入りする場所を訪れる場合は、周囲の状況に注意を払い、不審な人物がいたら速やかにその場を離れる等、安全意識をたかめておくことが重要です。

3 ハリケーン

2018年の大西洋地域での暴風雨発生状況は、ほぼ例年並みでした。15個の命名された暴風雨が発生し、うち8個がハリケーンにまで発達し、そのうち2つがメジャーハリケーン(カテゴリー3以上)になりました。本年の予想については、6月のハリケーンシーズンに入る前に、ナショナル・ハリケーン・センターから見通しが発表されます。平時より、緊急災害キット(飲み水、懐中電灯、衣料品、衛生用品等)の準備の確認の他、貴重品をすぐ取り出せるように保管場所の確認をしておいて下さい。災害への準備については、ヒューストン市緊急対策室のHPが参考になります(<http://www.houstonoem.org/preparedness-are-you-ready/>)。また、職場などでも、災害発生時のマニュアルや安否確認のためのリストの再点検をお願いします。

4 在留届

3ヶ月以上当地に滞在されている方で、在留届をまだ提出されていない方は、是非提出をお願いします。提出はオンラインで可能です(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>)。当館が緊急事態発生時に安否確認等を行う際には、在留届の内容に基づいて連絡を行うため、在留届は皆様の所在を把握する上で重要な資料となります。また、在留届提出時にメールアドレスもお知らせ頂けると、当館から発出している各種安全情報を受け取ることができます。在留届の提出は、旅券法16条に定めがあり、法律に基づくものですので、ご協力願います。併せて、当館管内から転出、あるいは帰国された場合も、速やかに転出・帰国届の提出をお願いします。

5 旅券の再発行、帰国のための渡航書の発行

旅券は海外において自分の身分を証明する日本国が発行する唯一の身分証明書であり、大変重要なものです。ご家庭や旅行先等で紛失や盗難には十分気をつけて下さるようお願いいたします。

仮に旅券を紛失等された場合、速やかに当館において所定の手続きを行って下さい。新たに旅券発給申請を行うか、急いで帰国する必要がある方は「帰国のための渡航書」発給の申請を行って頂くこととなります。これらの発行に際しては、申請者が日本国籍を有していることが確認できる書類(原則は6ヶ月以内に発行された戸籍)が必要となります。一部ガイドブック等に、「帰国のための渡航書」発給には戸籍は必要ないと読めるような誤った記述がありますが、ご注意ください。

これら手続きの際、戸籍の入手に困難を感じる邦人の方が少なからずいらっしゃいます。旅券の紛失等に備え、常に手元に6ヶ月以内に発行された戸籍を持っておくようにしたり、日本から速やかに戸籍を取り寄せる方法について確立しておくことをお勧めします。緊急時の対応については、個別に当館にご相談下さい。いずれにせよ旅券や渡航書の発行には日本国籍保有の確認が必要となることをご理解下さい。

(文責: 総領事館)

ヒューストン補習校ANA航空教室



～安全と快適を支える仕事とは～



2月9日、ヒューストン補習校の5年生が待ちに待ったANA航空教室が開かれました。ANAヒューストン支店長の名川さん、機長、整備士、客室乗務員、空港グランドスタッフをはじめ、飛行機を飛ばすことに関わる全ての職種の皆様がおいで下さり、とても興味深いお話を伺う事が出来ました。今回はANA

の方々の特別のご厚意により、児童4名が制服を着させて頂き、手をつないでの登場というオープニングとなりました。

最初に、客室乗務員より機内搭乗のようにアレンジした航空教室開始アナウンスからはじまり、まずは小島機長から、パイロットの仕事についてお話を伺いました。パイロットのあの格好いい黒いカバンの中には、キットカットが入っていました。飛行時間11,700時間、飛行機20年のベテラン機長は、チョコレートがお好きなのですね。大学時代にパイロットになった先輩を見て、自分もやってみたいと思ったのがきっかけです。安全に出来るだけ早く乗客を目的地に届けるという使命の下、毎日頑張っているそうです。オーロラなどコックピットからしか見る事の出来ない写真を沢山見せて頂きました。



次に、整備歴28年の岡宮整備士からお話を頂きました。整備士になっ



たのは、手先を動かして修理をすることが好きで、国語と英語が苦手だったからだそうです。「飛行機がどのように飛ぶのか知っていますか」という問いに、児童がしっかりと答え、「さすが5年生」と感心していらつしやいました。岡宮さんは、「飛行機がなぜ浮くか」について、デモンストレーションを交えて説明して下さい、飛行機の設計が軽さととの闘いだということがわかりました。飛行機の機体の厚さは僅か3ミリ、ドアの周りは7ミリしかないという薄さには皆驚きました。

最後は、お客様に快適に過ごして頂く為に、健康・笑顔・思いやりを心がけているという梅村客室乗務員パーサーのお話です。梅村さんがこの仕事に就いた理由は、ご自身が客室乗務員の優しさや美しさに感銘を受け、国際的な仕事をやりたかったからで、色々な人との出会いがあることにとてもやりがいを感じているそうです。あの美しいスカーフは、何かの理由で止血が必要になった場合等の緊急時に使い、人の命を助ける事も出来ると教えて下さいました。美しく見えるだけではなく、お客様の安全を第一の使命として保安要員としても日々サービスに努めているそうです。



興味深いお話の後、児童達からの多くの質問にも、一つ一つ丁寧に答えて頂きました。

お忙しい中、時間を取って補習校へお話に来てくださったANAの皆様、本当にありがとうございます。また、来年も楽しみにしています。そして、今度は空の上で会えるといいですね。

(文責：ヒューストン補習校5年担任一同)

ヒューストン 日本語補習校 先生体験記

教員 募集中

Q + A

スミス麻美 先生

勤務年数：4年目(2019年2月現在)
ビザの種類：アメリカ市民権

今年で46年目を迎えるヒューストン日本語補習校では、今後児童生徒の増加が見込まれるため、現在教員を募集中です。

現場の教員の方に登場していただき、職場としての補習校について、教員の立場からの体験や思いをお伝えしてまいります。

これを読んで、ひとりでも多くの魅力ある先生が仲間に加わってくだされば幸いです。第21回目は、スミス先生にお聞きしました。



Q. 補習校に勤められたきっかけは何ですか。

A. 学生時代から教員に対する憧れがあり、自分の子育てやベビーシッターの経験を、教員として活かす事が出来るのではないかと思います、教員に応募しました。

Q. どのような教員を目指していますか？

A. 子供の個性を尊重し、個々の長所を十分に伸ばせる教員になりたいです。また、その過程で自分自身も成長し、子供の全てを受け止められる教員が目標です。

Q. 現在何を教えていらつしやいますか。

A. 幼稚部のクラスを担当しています。

Q. 補習校勤務を始めて、期待通りだったことと意外だったことは何ですか。

A. それまでに教員の経験が無かった為か、特に期待というものはありませんでしたが、経験が無い分、見るものや聞く事全てが新鮮でした。教員になる前は大変な職業という印象でした。実際に教員になると、確かに大変な職業でしたが、それ以上に喜びや感動が多く、楽しく感じる事の方が多くなりました。生活面においては、教員の自分と普段の自分とで、生活にメリハリが出る様になりました。

Q. 補習校での、教員としてのやりがいや喜びを感じた経験を教えてください。

A. 子供達と一丸となって物事を成し遂げた時の達成感、教員として大きなやりがいを感じます。また、子供達があるきっかけで壁を乗り越えたり、成長の瞬間を目の当たりに出来るのも、教員として大きな喜びです。自分自身も苦手な事がありますが、子供達と一緒に取り組む事で、克服出来る事もたくさんあります。

Q. 補習校で大変だったことを教えてください。また、それをどのようにして乗り越えましたか。

A. 前述の通り教員の経験が無かったので、毎週の指導方法を、自分なりの手探り状態で始めた事、また子供達にとって何が最良なのかを、常に考えて試行錯誤していた時期は大変でした。困ったときは、主人に相談したり、校長先生や他の先生方に積極的に質問して、知識・技能・スキルを高められるように心がけています。

Q. これから応募される方へのメッセージをお願いします。

A. 子供達それぞれの個性を尊重しながら、成長を見守る事は決して簡単な事ではありませんが、その分、喜びや感動が何倍にもなって返って来る、大変やりがいのある仕事です。また教員を経験する事で、人間として成長出来る部分も多く、普段の生活や子育てに活かせる事も多くあります。



ロッキー山脈登山 第3部

3回にわたる連載ロッキー山脈登山記もいよいよクライマックス、Mt. Longs Peak頂上へのアタックへ！急性高山病、疲労、喉の渇き、恐怖との格闘の末、そして遂に.....

8月7日、朝8時半起床。快晴、気温6度。相変わらず頭痛、吐き気で何もする気が起らない。当然食欲も全くない。下から続々と日帰り登山の人がキャンプ場の横を通過していく。早く出発しなければと気持ちが焦るが、ようやく意を決しキャンプ場を出発したのは10時だった。

巨大な角の下に人影が。その左には窓のある避難小屋。



The Keyhole

最終地点であり、各自が勝手にKeyholeを目指し勾配がどんどん険しくなる道なき大きな岩をひたすらよじ登っていくのである。キャンプ場を出て1時間でKeyholeに着いた。Keyholeの下は畳1枚ほどしかない。角のように突き出た岩の高さは20~30メートルほどか。言葉では言い表せない、実に神秘的。20年前の映画『アルマゲドン』の1シーン、地球に接近する彗星にBruce Willisらがスペースシャトルで上陸、その時の彗星の光景を思い出させる。

Keyholeのすぐ下の脇には、1925年1月の嵐によって亡くなった2名の登山者の冥福を祈り、石で作られてガラスがはめられた6~7名入れる広さの避難シェルターがあった。よくこんな場所に建てたと感心させられる。Keyholeで数分間の休憩。ここまでは特に危険はなかったが、問題はここからである。まずはKeyholeで折り返し、山の裏側の斜面を横に進む“The Ledge”である。いよいよ危険との隣あわせという事で、Keyholeで引き返す人は少ない。正直、筆者もKeyholeから一見したLedgeは、今までとは違い本能的に危険を感じ、行くかどうか一瞬たじろいだ。しかし腹を決めた。



The Ledge

ここから頂点まで道らしい道はなく（というより作るのは物理的に無理）ルートから外れないよう約10メートル間隔に“red and yellow bull's eyes”、つまり赤と黄色の目印がペイントされた岩を頼りに進むのである。見失うと危険ゆえ、その場合は引き返し、改めてこの目印を探さなければならない。無理は禁物である。Ledgeは北壁なのか気温が低く、また風も強い。持ってきたダウンジャケットを着る。アップダウンしながら横に進む。頂上から下山する人と続々とすれ違い、時々言葉を交わすと気持ちが多少安らぐ。眼下には何百メートルも下の景色が見えるが、断崖絶壁というほどでもない。ただ息切れは相変わらずひどく、10メートル進んでは小休止の連続、結局Ledgeは1時間ほどで踏破した。



The Trough

次のパートは“The Trough”。天高くそびえたスキー場の最上級者コースのような急斜面を縦にほぼストレートに数百メートル進むのである。当然ルートは無く、ひたすら目印を探しながら登る。相当険しい勾配を落石に注意しながら両手を使い、壁を細かくジグザグによじ登る。一方、時間が経つにつれ下山する人も減り、遂に最後に登頂した2人組とすれ違う。これから頂上を目指すのは自分だけである。何とか1時間半ばかりTroughを登りきった。

ここで180度ターンして山の再び表側を横に進む“The Narrows”が始まる。ここからは正真正銘の断崖絶壁、そしてその名称の通りかろうじて幅30-40センチの所をアップダウンしながら進まなければならない。果たしてこんな所を自分は本当に行けるのか、再び引き返そうかと悩んだが、とにかく行ける所までは行ってみようという決心である。下は絶対に見えない、究極のへっぴり腰である。実は情けないほどの高所恐怖症なのである。途中、不覚にも最後のパートに着く直前に目印を見失ってしまった。引き返し、もし見つけられなかったらこれで終わりしようという決心、引き返したところ幸か不幸か目印を見つけてしまい続行することにした。

こうして恐怖と戦いながら40分、ついに最後のパートの“The Homestretch”に辿り着いた。ここから頂上までは直線距離100メートルほど、切り立った巨大な一枚岩で、これまでの行程の中で最も勾配があり（実際、下から見るとほぼ垂直に見える）、当然立つことはできない。ロッククライミングのようにわずかな窪みを見つけてはそこに手、足をかけ、ほぼ一直線によじ登るのである。

そして20分後、午後2時35分、遂に頂上に着いた。キャンプ場を出発して4時間半。頂上は岩がごろごろ横たわっているがテニスコート3面ぐらい広さである。当然そこにいるのは自分だけである。天候が崩れなかったのは本当にラッキーであった。Mt. Elbertの時と同じで、感激は思ったほど沸いてこず、それより帰りの天気が気になる。15分後、下山を開始した。順調に下山でき、午後5時半にキャンプ場に生還した。この時やっと達成感がこみ上げてきた。しかし心身ともに限界であった。相変わらず頭痛・吐き気で食欲は全く無い。この日も何も食べずに日没前に就寝した。

夜中に目を覚まし、前日できなかった星空を見るためにテントの外に出てみた。しかしこれまで生涯最高の星空であったテキサス・ビックバンド国立公園で見た星空には及ばない。というのも山の麓の街、Estes Parkの街明かりが影響しており、完全な暗さにはなっていないのである。

8月8日、朝6時半起床。やっと頭痛が治まり、食欲が少しだけ戻ってきた。カップ麺を食べ、出発の準備をする。午前9時下山を開始し、11時半登山口に無事到着、やっと3日振りに心置きなく水を飲めたことがとにかく嬉しかった。

この後Estes Parkのコインシャワーで4日ぶりのシャワーを浴び、デンバー空港に車を向けた。高山病に苦しめられたが、何はともあれ無事に過酷な挑戦を終えることができた。ただもう当分は山のことは考えたくない。〈 完 〉

(文責: Marubeni America Corporation 平澤暢人)

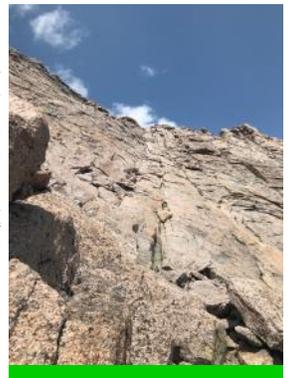
*Longs Peak登山に関してのリンク

<https://www.nps.gov/romo/planyourvisit/longspeak.htm>

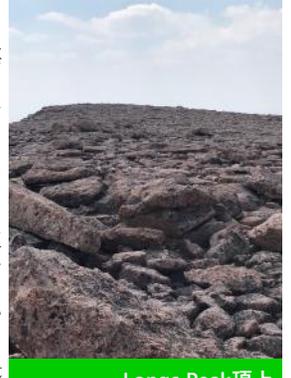
<https://www.14ers.com/photos/peakmain.php?peak=Longs+Peak>



The Narrows
断崖絶壁の下にはChasm Lake



The Homestretch



Longs Peak頂上

ピーカンキッズ 活動報告

—あそぼーかい—

2月の「あそぼーかい」は1月31日(木)と2月2日(土)に開催されました。今回のテーマは「節分」です。暦の上では春ですが、ヒューストンもまだ肌寒い中、元気なちびっこがたくさん来てくれました。節分に出てくる鬼は、とがった柵の葉を嫌い、魚のいわしの臭いが苦手などのお話を真剣に聞いてくれました。立春から始まる新しい年を迎えるにあたって、ちびっこ達のところには鬼さんは退散してもらって、お福さんに来てもらいたいですね。

はじまりのあいさつ

トラお君、トラ子ちゃんの節分の「お豆何粒食べるの?」の質問で、ちびっこ達からも「3個!」「5個!」と声がかかれました。トラお君からスタッフにも「何粒食べるの?」と、するどい質問がきて…「たくさん食べまーす!」との答えでさらに楽しい雰囲気になりました。



パネルシアター「節分」

最初に大きな鬼のパネルが出てきて、ちよつとびっくりしていましたが、どうしてお豆を投げるようになったかのお話に、興味津々でした。

今月のうた「豆まき」

おなじみの歌に、『おにはそと〜、ふくはうち〜』と一緒に口ずさんでくれました。



からだあそび「鬼のパンツ」



豆まきの歌のあとに突然ドアから、トントン!赤鬼さんと、青鬼さんの登場です。「好き嫌いな子はいないかな?」「ママを困らせる子はいないかな?」と言ってくる鬼さんに向かって必死で、お豆に見立てたソフトボールを投げていました。その後には、鬼さんたちとすっきり仲直りして、元気いっぱい「鬼のパンツ」を踊っていたちびっこ達です。「鬼のパンツ」の踊りは、大人にとってもなかなかの頭の体操になりました。踊りのおかげでからだもポカポカ温まりました。

1月と2月のお誕生日会

今月は1月と2月生まれの子を、みんなでお祝いしました。おめでとうございます。お誕生日のお子様のご参加をお待ちしています。



工作「ぬりえ」

鬼の顔のぬりえをしました。いろいろな色の鬼がたくさん出来ました。お豆を1パックずつお渡しすると、嬉しそうに持ち帰っていました。

初めてのちびっこもお待ちしています。「あそぼーかい」は月に2回、平日1回と土曜日1回開催しています。三水会センターのキッズルームへどうぞお気軽にお越し下さい。

ピーカンキッズ今後の開催予定

<あそぼーかい>

4月5日(金) 10時30分~

4月6日(土) 9時30分~

<読み聞かせの会>

4月13日(土) 10時~

※赤ちゃんから未就学のお子様対象

*変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやコミュニティーサイト:ヒューストンなび<hounavi.us>でもご確認ください。

*スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡ください。お待ちしております。

あそぼーかい

mama.asobokai@gmail.com

読み聞かせの会

houstonyomikikase@yahoo.co.jp

生活情報委員会活動紹介

ピーカンキッズ 読み聞かせの会

ピーカンキッズ読み聞かせの会は、現在7名のスタッフで毎月絵本や子育てなどの話をしながら楽しく活動しています。スタッフの年齢層は様々ですが、全員子育て中のママです。

【活動内容】

三水会センターで月1回、絵本選定、会の準備・開催を行っています。日本を離れているお子様たちに、質の高い絵本を伝えたい、絵本の楽しさを知ってもらいたい、日本人としての感性を育む手助けになってほしいという思いから、絵本が大好きなスタッフが、物語・写真絵本・大型絵本など、季節や年齢を考えて選んでいます。また絵本の読み聞かせだけでなく、手遊び歌や不定期で講師の方をお呼びしてリズムも取り入れています。ぜひお子様と一緒に遊びにいらしてください。



【開催日】

毎月1回。金曜日又は土曜日(夏休みを除く)

【ボランティア募集】

現在スタッフを募集しています。絵本が好きな方、子育て真っ最中の方、絵本を通じて私たちと一緒に楽しみませんか?お子様連れの方も子育てがひと段落した方も大歓迎です。お子様連れの方はお子様と一緒に会に参加いただけます。少しでもご興味のある方、ぜひ見学にいらしてください。金曜日もしくは土曜日どちらかのみでの参加でも構いません。

見学のお申込み、ご質問、お問い合わせがございましたら、下記アドレスまでお願いいたします。

E-mail: houstonyomikikase@yahoo.co.jp

最後に、スタッフのお気に入り絵本を紹介したいと思います。三水会図書館にある絵本ですので、お手に取ってみてください。

★「ちいさいおうち」作・絵: パーヅニア・リー・パートン 岩波書店 主人公「ちいさいおうち」の気持ちになりながら、自然の大切さに気付ける1冊です。心温まるイラストにも癒されます。(井上)

★「ちよつとだけ」作: 瀧村 有子 絵: 鈴木 永子 福音館書店 第2子 出産後、自分も一生懸命だけれど、長女はもっと頑張っているのよね、、、と気づかされた絵本です。(樽谷)

★「どうぞのいす」作: 香山美子 絵: 柿本幸造 ひさかたチャイルド 働き者のうさぎさんシリーズ。動物がたくさん登場し、絵本にリズムがあり、聴きやすく子供達も大好きです。(伊崎)

★「くだもの」作: 平山和子 福音館書店 まるで本物の果物が目の前にあるようで、「さあ、どうぞ」と絵本のなかから勧められる果物を、子供と一緒に食べるまねをするのが楽しい一冊です。(下保木)

★「おぼけのてんぷら」作・絵: せなけいこ ポプラ社 登場人物もおつちよちよいのうっかりもので可愛らしく、さくさくと揚げたてのてんぷらを食べる感触が口の中に湧き上がってくるようです。(鞍田)

★「もこもこもこ」作: 谷川俊太郎 絵: 元永定正 文研出版 擬音のみの抽象的な模写で、子供と一緒に想像を広げられます。赤ちゃんの初めての絵本にもぴったりです。(デュロニオ)

★「はちうえはぼくにまかせて」作: ジーン・ジオン 絵: マーガレット・ブレイ・グレアム ペンギン社 仕事で忙しく夏休みにどこにも出掛けられない代わりに好きなことをしていいと父に言われたトミー。パカンスへ出掛ける近所の人たちの鉢植えを預かり上手に世話をしていくお話。自分で決めたことを楽しみながら最後までやりとげます。うちの近所にもトミーがいたらなあと思わずにはいられません。(山岡)





テキサス・メディカルセンター最前線

このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康と医療についてお話しして頂きます。

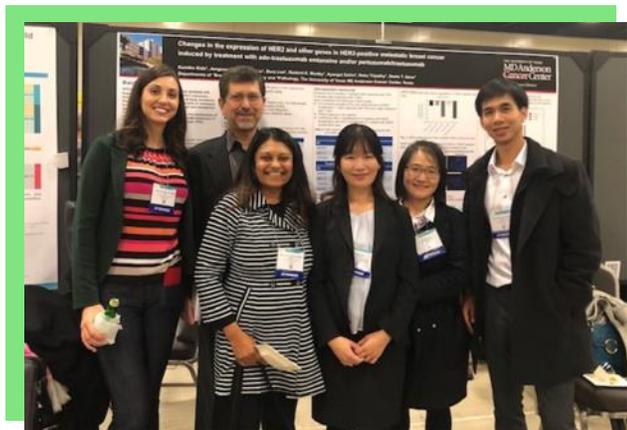
前回の櫻井亜樹先生から乳腺外科がご専門の喜多久美子先生にバトンが移りました。

第173回

テキサスメディカルセンターの紹介

テキサス大学MD
アンダーソンがんセンター

Breast Medical Oncology Postdoctoral Fellow 喜多久美子



中央が筆者

皆様、初めまして。聖路加国際病院乳腺外科からテキサス大学MDアンダーソンがんセンター乳腺腫瘍学講座へ研究留学をしております喜多久美子と申します。2017年よりこちらに来ておりますが、なぜ日本からヒューストンに来る医師が多いのですか、と質問をいただくことがよくあります。大半の医師は、テキサスメディカルセンターの施設で最先端の医療や研究を行うためにヒューストンへ来ています。今回は、普段とは趣向を少し変えて、世界から人が集まるテキサスメディカルセンターについてご紹介したいと思います。

テキサスメディカルセンターは、ヒューストンにある世界最大級の医療研究機関の集まりです。その中には54施設が含まれていて、様々な病気の診療や予防、研究、教育、福祉など、医療に関するあらゆる側面をカバーしています。医師・研究者だけで2万人がおり、病床数は合計で約9200床を有しています。敷地面積としては、東京ドーム87個分もの広さがあるそうです。手術件数は年間約18万件と非常に多く、特に心臓の手術においては年間1万3千件以上と、世界で最も手術症例数が多いことが知られています。

なかでも有名な施設として、テキサス大学MDアンダーソンがんセンター、ベイラー医科大学、テキサス大学ヒューストン保健科学センター、メソジスト病院、テキサス子供病院、メモリアル・ハーマン病院などがあります。

テキサス大学MDアンダーソンがんセンターは1990年代以降、がん治療に特化した病院としては全米で1、2を争う存在になっています。U.S. News & World Report誌が選ぶ全米病院年間ランキングというものがあるのですが、そのcancer care部門において過去17回中14回で全米一に選ばれており、最新の2018年度にも1位にランクインしています。年間に13万人以上の患者さんが治療に訪れており、

千を超える最新の治療を含む臨床試験が行われています。研究面では、先日当センターのJames Allison博士がノーベル生理学・医学賞を受賞なさったことでも、院内が非常に盛り上がっています。

ベイラー医科大学は、1900年に「ダラス大学医学部」としてダラスに設立され、1903年にベイラー大学に統合された後、1943年にテキサスメディカルセンターに移転してきました。同校はU.S. News & World Report誌による医学校のランキングでも上位10位以内に入る高評価を得ている医学校です。

テキサス大学ヒューストン保健科学センターは保健教育の博士課程では全米1位です。

テキサス子供病院は、世界最大の小児病院と言われ、全米No1の小児心臓外科を始め、各診療科とも全米屈指のクオリティを有することで有名です。

メソジスト病院は全米の優れた病院の1つに数えられ、心臓外科手術、がん治療、てんかん治療、臓器移植など幅広い分野で世界的にその名を知られています。

メモリアル・ハーマン病院は、ヒューストン最大の医療グループMemorial Hermann Health Systemの旗艦病院で特に救急医療が全国的に有名です。こちらは、ライフ・フライトと呼ばれる救急ヘリコプター派遣のシステムが創設された地でもあります。隣接する同グループのTIRR病院は、全米トップクラスのリハビリテーション病院となります。

上記の病院以外にも、センターには著名な21病院をはじめ、8専門医療施設、8研究施設、4医学部、7看護学校、2薬学部等があり、医療・保健関連のあらゆるキャリア・パスが用意されています。日本から来ている医療関係者は、これらの施設で最先端の医療を学び、帰国後は日本の医療に還元できるよう日々励んでいます。

今回の担当は、私と同じMDアンダーソンがんセンター乳腺腫瘍学の研究室に所属している千場隆先生です。千場先生とは、職場のつながりが深く、定期的に研究ミーティングなどでお会いしています。現在は乳癌の研究をされており、興味深いお話が聞けると思っています。よろしくお願ひいたします。



メディカルセンター全貌

駐妻のヒューストン日記



第174回 木村由紀子さん

まさかヒューストンの地で韓流ソングを踊るなんて…子供達の宿題や家事に追われ、華麗な駐妻とは程遠い主婦がなぜ？その答えはESLに(笑)コネチカットでの2年を経てこちらへ引っ越してきたのは3年前。周りは白人ばかりという環境からのヒューストン。一歩足を踏み入れた途端、色々な国のお友達であふれ、まるでディズニーの「イツァスモールワールド」の様な世界に驚きと希望でスタートしたESL。とはいえ学生時代から英語が苦手だった私が、あらん限りの英語と集中力を振り絞っても、何の話題も分からず迷子になったり、私が話す時はみんなが理解しようと心の内をも覗き込むように顔を見てくれるのは日常茶飯事…英語の成長は今ひとつでしたが、幸運にもこんな私でもお友達の輪はぐんと広がりました。

ある時は、タイ人のお友達にトムヤムクンやグリーンカレーの作り方を教わったり、インド人のお友達からインドのお店で美味しいサモサやチャイを覚えてもらったり…無性にモロヘイヤスープが食べなくなっただけでも、どこで買えるか分からなかった時、エジプトの王が風邪の時に飲んでいたというのを思い出し、エジプト人のおじさんに尋ねてみると、翌日持ってきてくれて…まるで彼が王様に見えたこともあった。それからヒジャブを巻いたお友達の家にお邪魔した際のこと、それを取った時の美しさと言ったら…旦那さんがこの美しさを独り占めするなんて、ロマンチックだなあと感心してしまうことも。そうそう、日本のウタマロ石鹸はお土産におススメです。中国人のお友達はよく落ちると大喜びで百円の石鹸がロボスターに化けて戻ってきましたよ。

年度末、恒例のESL合同パーティーで出し物をできる人！という募集の声。毎年切り抜けていた私も、その年は気づいたら韓国人3人中国人3人日本人3人のグループの一員に…曲は韓流よねってことでTWICEの

「TT」。仲間の日本人の1人は、ヒューストン在住、劇団四季顔負けの振付師(も出来るの意)。その日のうちに振り付けビデオが出来上がり…心の準備も出来ないうちに曲とダンスが決定…そういうわけで彼女の監督の下、いよいよ練習が始まりました。自主練を完璧にこなし、合同練習の際はメジャーを持って舞台のサイズを再現しようとする韓国グループ、練習は毎日するべきよという練習熱心な中国グループ、に押され気味の日本グループ。衣装に関しても、ヒールかスニーカーかということから、ジーンズの色の濃さや髪型に至るまで…文化やおしゃれポイントの相違が時には摩擦を起こしましたが、そこは大人対応でクリアです。

とうとう本番。練習を積んできた自信と、息のびったりあったチームワーク、そしていつもより何枚も重ね気合の入った特殊メイクならぬパッチリメイクで、大成功(だったはず)です。娘の現地校で校長先生からも「あなたのダンス良かったわよ」というお言葉を頂き、有名人気分を味わい調子に乗って今思うのは…「素敵な出会いをありがとう。そしてもう一度踊りたいな」…え？もう十分？ですよね、失礼しました。



最後列右から2番目が筆者

駐在員日記 「往復はつまらない！一筆書きの旅」

皆さんはじめまして。山田と申します。ヒューストンの駐在は2017年9月から2回目となり、通算約5年半になりました。

さて、海外の駐在期間中の休みに皆さんは何をして過ごしますか？我が家は(ご多分に漏れず)、国内旅行を楽しんでいます。

広いアメリカでは「飛行機+レンタカー」の移動が多くなりますが、現地の空港と目的地を単純往復するよりもより多くの都市・場所を巡ってみたい！とのことから、我が家はヒューストンから行く空港と、ヒューストンに戻ってくる空港を変える「一筆書きルート」でよく旅行しています。レンタカーを乗り捨てることになるため若干割高にはなりますが、単純往復よりも行ける範囲が増えるので楽しみも広がります。というわけで、我が家が過去に試した一筆書きルートをいくつかご紹介したいと思います。

「バッファロー→トロント→オタワ→モントランブラン→モントリオール→ボストン」ルート

ナイアガラの滝の玄関口であるバッファローに入り、初日はアメリカ側から遊覧船「霧の乙女号」に乗ってナイアガラの滝で全身ずぶ濡れ体験。2日目からはカナダへ移動し、カナダ側からもナイアガラを観光した後、トロントへ向かいます。トロントでは世界で5番目に高い展望台というCNタワーに登りトロントの町を一望し、翌日はオタワ経由でモントランブランへ入りました。オタワでは金運?にあやかろうとカナダ造幣局を見学したのですが、以前家族で住んでいたエクアドルで流通するコイン(同国ではドルを使用していますが、コインだけはなぜか本国通貨を使用)をもここで製造しており驚きました。次の目的地・モントランブランを目指す際、カーナビをセットしたところ、車がオタワ川にぶち当たりました。誤作動かと思いきや、どうやら船で川を渡る模様。そのまま乗ってみました、のんびりしていて思いがけず旅の良い思い出となりました。メープル街道や紅葉で有名なロレンシャン高原の中に位置するモントランブランはスキーリゾートで

第2回 INPEX Americas, Inc. 山田壮平さん



もあります。夏場も無料リフトで山頂からの景色を眺めたり、雑貨屋巡りをしたりしながら散歩が楽しめるようなかわいらしい町です。我が家が訪れたのは8月下旬。紅葉には少し早かったのですが、少しずつ色づき始めた山々はそれでも十分フォトジェニックな風景でした。次に訪れたモントリオールでは観光はもちろんフランス料理も堪能し、その後少し長距離ですが一路ボストンへ。国境での入国審査は優に1時間以上かかる程の混雑ぶりでしたが、その後は順調にバーモント州、ニューハンプシャー州を通り過ぎ、ついに旅の終着点・古都ボストンにたどり着きました。ここではおのぼりさんよろしくハーバード大学やMITを訪れ、娘のために“future freshman”のTシャツを購入したかどうかはご想像にお任せします。なお、この旅の旅行日数は8泊9日、総移動距離は約1,000マイルでした。

他には深秋に訪れた「サンノゼ→ナパ→ヨセミテ国立公園→マンモスレイク→デスバレー→ラスベガス」も思い出深い一筆書きルート旅行のひとつです。このルートの魅力は、気候も景色も全く異なる風光明媚な地域を周りつつ、最後はネオンが輝く人工の都市ラスベガスに到着することでしょうか。このほか、西海岸の大都市を巡る「サンフランシスコ→ロスアンゼルス→サンディエゴ」やアメリカ原風景を訪ねる「アルバカーキー→ペトログラフィック国立公園→サンタフェ→タオス→エペブロー→ホワイトサンズ→エルパソ」、海岸線のドライブが楽しい「キーウェスト→マイアミ」ルートなど、これまで様々な一筆書き旅行を楽しんできましたが、まだまだ無数にルートは描けます。

皆さんも、ご自身の一筆書き旅行をぜひ楽しんで下さい。



ミニッツメイド・パークの ホンダクラブ



日本から来客があったときには必ず行きたいミニッツメイド・パーク。球場になる前は駅舎だったので、白亜の円柱が豪華な駅のロビーは、現在ではUnion Stationエントランスとして、その時の面影を残し、機関車はミニッツメイド(飲料会社)に因んでオレンジを積みホームランの名物になっています。また、コンコースには昔ながらの車のガソリン計量機が設置されており、アストロズ選手のホームラン数がカウントされています。外には巨大なボールのオブジェ、金曜には花火もあがり、見所満載です。

2017年ワールドシリーズで優勝したときにはヒューストンが盛り上がりましたね。どちらかというとアメフトより馴染みがあるので、日本人メジャーリーガー目当てに何度も足を運んでいましたが、実は、私の楽しみはもう1つ、ホンダクラブでした。入場ゲートを通り、アーチ状の立ち見席から見ると、2階のバックネット裏辺りにHONDA CLUBとサインが見えます。野球観戦される方は多いと思いますが、ホンダクラブについてはあまり知られていないようで、周りの友人達も知りませんでした。ホンダクラブとは、ホンダクラブのコンコースに通じているシートを購入した人か、ホンダ車のキーを持っている人が入れるクラブルームのことです。偶然にも駐在中に購入した車はホンダ車なので、このちよつとした特典に、喜び倍増でした。

さて、2階入り口の係員へキーを提示するとアームバンドを付けられ何度でも入場できます。中は、ホンダ車が展示されていてゆったりとした空間です。窓際のカウンターで観戦しながらビールを飲んでいる人もいれば、テーブル席でのんびり食事をしながらモニターを見ている家族もいます。



何より、トイレが綺麗で空いていて、オープンルーフの時でもクーラーが効いて快適です。クラブといってもお店は有料になりますが、他のエリアにはないスタイリッシュなお店が立ち並び、違った食事と空間を楽しめます。

私は数回利用しました。安いシートを購入し、ホンダクラブのカウンターで観戦したり、のんびり食事をして過ごし、後から購入したシートで観戦したりしました。ホンダクラブのお店は22時頃には閉まりますので、早めに購入されることをお勧めします。詳細は下記をご参照ください。

http://mlb.mlb.com/hou/ballpark/honda_club_level/

(文責: 彦坂邦子)



■ Japan Festival (主催: Japan Festival of Houston, Inc.)

4/13
14

4月13日(土)、4月14日(日)に、Japan FestivalをHermann Parkにて開催します。毎年2万人以上の来場者を誇るヒューストンでも有数のイベントは、今年で26回の節目を迎えます。ヒューストン日本商工会は、例年同様キッズ縁日を担当します。縁日の運営は、多くの方々のご協力が不可欠ですが、毎年、商工会の会員やご家族の皆様ボランティアとしてご参加いただき、この一大イベントの屋台骨を支えていただいております。例年以上に盛大なものにすべく、本年もご参加ご協力のほど、よろしくお申し込み申し上げます。

Japan Festival Houston 公式ウェブサイト
<http://www.houstonjapanfest.org/>



■ 2019年 商工会ソフトボール大会 (主催: ヒューストン日本商工会)

4/21

いよいよ大会まで1か月となりました。日本商工会では、今年も前年同様、Houston Sportsplexにてソフトボール大会を開催いたします。

大会も近づき各チームの練習にも力が入ってきているようです。優勝を目指すチーム、決勝トーナメント進出を目指すチーム、そして悲願の1勝を目指すチームなど目標に多少の違いはあるかも知れませんが、仲間と共に汗を流し、プレーヤーと応援メンバーが一体になり、参加される多くの方と親睦を深めたいという想いは皆同じです。熱く、爽やかに、そしてほのぼのとした楽しいイベントになること間違いありません。皆さまの観戦・熱い声援をお待ちしております。



開催月日: 2019年4月21日(日) <雨天の場合: 5月27日(月)>
開催場所: Houston Sportsplex (12631 S. Main St., Houston, TX 77035)
www.houstonsportsplex.com

■ 講演会「メキシコ新政権の政策と今後の経済動向」(主催: ヒューストン日本商工会)

2018年12月にロペス・オブラドール新大統領が就任したメキシコ。マーケットの成長性や豊富な労働力を背景として自動車関連企業等多数の日系企業が進出していますが、新NAFTA(USMCA)協定妥結などの情勢変化もあり、新政権の政策や今後の経済動向への注目が高まっています。

こうした中、4月の定例講演会はJETROメキシコ事務所の稲葉所長を講師に招き開催します。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

4/24

日時: 2019年4月24日(水) 2:00 pm~3:30 pm(質疑応答を含む)
会場: United Way Community Resource Center オーディトリウム
50 Waugh Drive, Houston, TX 77007

定員: 65名

講師: JETROメキシコ事務所 所長 稲葉公彦(いなば・きみひこ)氏

1984年JETRO採用。海外調査部、貿易開発部、展示事業部、ものづくり産業部などに勤務。サンティアゴ事務所からの帰国後の1999年10月にチリ政府からベルナルドオヒギンス勲章を受勲。2015年9月に南アフリカ共和国貿易産業大臣から日本・南アフリカ共和国間経済・貿易関係構築にかかる貢献を評価する表彰状を贈られる。共著に「FTAガイドブック」(ジェトロ、2003年)、「アフリカBOPビジネス市場の実態をみる」(ジェトロ、2010年)がある。



お申込み及びお問い合わせ: ヒューストン日本商工会事務局

Tel. (281) 493-1512 Email: sansuikai@jbahouston.org

■ ピクニック(共催: ヒューストン日本商工会・日本人会)

今年も、Jones Creek Ranch Parkでピクニックが開催されます。会場にはバレーボールやバスケットボールコートもあり、大人も子供も楽しめる各種アクティビティをご用意しております。さらに、ゲームコーナーやサックレースなどのアトラクションや豪華景品が当たるラッフル抽選会もご用意する予定です。また、パビリオンや木陰でピクニックテーブルを囲んでのBBQをゆっくり楽しんでいただけます。

皆様奮ってご参加下さい。

参加申込みなどの詳細につきましては、3月中旬にメールにてご案内を配信予定です。



5/5

開催月日: 2019年5月5日(日) <雨天決行>

開催場所: Jones Creek Ranch Park

(7714 FM 359 Richmond, TX 77406-7724)

■ 第563回テキサス会ゴルフコンペ「総領事杯」(共催: ヒューストン日本商工会・日本人会)

第563回テキサス会「総領事杯」を下記日程にて開催致しますので、皆様奮ってご参加頂けます様お願い申し上げます。参加資格は商工会、日本人会会員に限らず、日本人コミュニティ関係者の方にはどなたでもご参加頂けますので、ご家族、ご友人、知人、出張者等ゴルフをなさる方の幅広いご参加をお待ちしております。尚、皆様からのご寄付、賞品のご提供も宜しくお願い申し上げます。

6/2

開催日時: 2018年6月2日(日) 午前8時00分 ショットガンスタート<小雨決行>

開催場所: WindRose Golf Club (<http://www.windrosegolfclub.com/>)

お問い合わせ/お申込み先: Valqua NGC, Inc. 吉田 (wyoshida@valqua-ngc.com)

CCにてScott高 (sko@valqua-ngc.com) にご送付お願い致します。



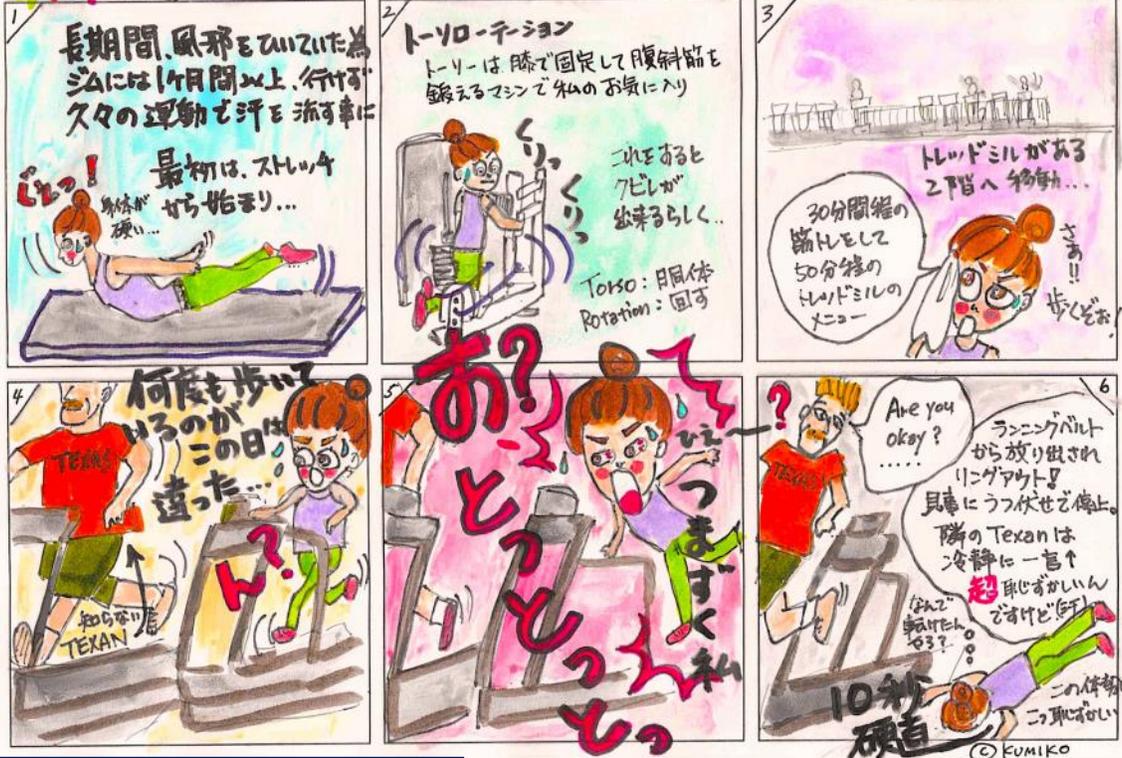
テキサス便利帳
無料配布中!!

Y's Publishing Co., Inc社様のご厚意により、三水会センターにてATLANTA NC SC TENNESSEE ALABAMA TEXAS BENRICO 2018年度版(小売価格: 米国\$30/日本¥3,000)を送料の実費(\$2)のみのご負担で無料配布しています。ヒューストンの情報はもちろん、運転免許試験予想問題集なども掲載してありますので、どうぞご利用下さい。入手ご希望の方は、三水会センター図書館にてお受け取りください。



By Kumiko

PART 2
GYM - VOL.131 SINCE 2007



Houston Walker

■Mar24-Apr7
Spring Bluebonnet Wine and Cheese Trail
(between I-45 and U.S. Highway 290)
テキサス州花ブルーボネットの季節が到来。
Brenham, TXからBryan, TX の間に集結する8つの
テキサスワイナリーがメンバーとなったTexas Blue-
bonnet Wine Trailはブルーボネットが綺麗に咲く地
域としても有名。
期間中の週末6日間限定開催のイベントは、チケット
に各ワイナリーのワインテースティングとチーズの
セットやテースティング用のBluebonnet Wine Trail
glassが含まれている。ワイナリーに広がる綺麗なブ
ルーボネットは絶景!
チケット: \$35 (2人用チケット\$56)
<https://www.texasbluebonnetwinetrail.com/>

■Mar30-31
McDonald's Houston Children's Festival
@Tranquillity Park
(400 Rusk St., Houston 77002)
Houston Children's Festivalは全米最大規模のチャ
リティーキッズフェスティバル。2日間のイベント期間
中はゲーム・サーカス・乗り物アトラクションが楽しめ
るだけでなく、様々なステージショーも開催。
チケット: \$14 (3歳以下無料)
<https://www.houstonchildrensfestival.com/>

■Apr11-14
32nd Annual Art Car Parade
(Downtown along Smith St.)
ヒューストン最大規模の無料パブリックアートイベン
ト。期間中はダウタウンに展示される色とりどりでユ
ニークなアートカーを見る為に約30万人が集まり、
2019年度の優勝者を決定する。目玉は4月13日に
開催されるアートカーパレード。
<http://www.thehoustonartcarparade.com/>

■Apr13-14
Japan Festival Houston
@ Hermann Park
(6001 Fannin St., Houston, TX 77030)
毎年恒例のジャパンフェスティバルが今年も開
催される。日本文化を紹介するこのイベントでは
日本人の大人も子供も楽しめる催し物や飲食
店が盛りだくさん。
入場料: 無料
<https://www.houstonjapanfest.org/>

■Apr14
7th Annual Houston Barbecue Festival
@Humble Civic Center Arena Complex
(8233 Will Clayton Pkwy, Humble,
TX 77338)
今年で7回目となるヒューストンバーベキュー
フェスティバル。20以上の有名バーベキュー店
が出店しており、入場料には各バーベキュー店
の試食が含まれる為、試食だけでも大満足。
フェスティバル会場ではライブミュージックも楽し
め、テキサスバーベキューを堪能するには絶好
のチャンス。
入場料: \$60 (前売り\$50、6歳以下無料)

■Apr26, 28, May 2, 4
Madama Butterfly
@Opera in the Heights
(Lambert Hall, 1703 Heights Boulevard,
Houston, TX 77008)
ブッチーニの蝶々夫人を未だかつてない日英
バイリンガルで公演するという斬新な作品を観
てみませんか。
入場料: \$40.50-94.50
<http://www.operaintheheights.org/>

編集後記

季節の変わり目で、不安定な天気の日が多いよう
な気がします。そもそも、ヒューストンには短い冬と長い
夏だけしか季節は無いと聞いた事がある気がしますが
が、まさに冬から夏への急激な変化の最中にあたるの
かもしれません。街中で白い花をつけた木を見かけ
ると日本より少し大柄な梅の花であつたりします。また、
濃いピンクの花をつけた木にも目が留まることがありま
すが、あまり見かけない花なので調べてみると、アメリ
カ花蘇芳(はなぞう)という植物のようです。中でもテ
キサス花蘇芳と呼ばれる品種があるようで、高温に耐
性があるそうです。葉に先立って花を咲かせますが、
葉がハート形との事ですので、これからも良く観察して
見ようと思っています。

今号では、川島元商工会会長の追悼記事を掲載さ
せて頂きました。1988年10月号のガルフストリーム誌の
表紙で商工会会長就任の御挨拶が掲載されておりました。
「米国に生活する人間として「自分が幸せになる
為」だけでなく、「廻りの人を幸せにする為」には何をし
たら良いか、と言う観点から、色々具体的な案を皆様と
御相談しながら、出来ることから1つ宛実行したいと考
えています。」と書かれておりました。謹んでお悔やみ
申し上げます。(松澤進一)

ガルフストリームは毎月15日発行です。
編集委員および投稿募集中!
問い合わせ先: info@jbahouston.org
ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。
<https://www.jbahoustongulfstream.com/>

発行: ヒューストン日本商工会
発行責任者: 小風 寧
編集委員長: 松澤 進一
構成・編集: 五十木希実/峯恵子/山村河奈
印刷: Sel-Fast Printing Copies & Laminating
(713) 782-2000